

提出していただいた意見とそれに対する市の考え

<

南部公民館リニューアル(案)

>

NO.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
1	<p>下記のとおり意見が提出されました。</p> <p>1. 南部公民館リニューアル工事の実施、税金支出の根拠について: 本リニューアルは、多くの審議や市民の同意(PC)を得て策定された市の公式計画(公共施設計画等)に沿うものではない。また、市民からの要望でも無い。この様な、必要性薄弱な工事に税金を使う事は許されない。</p> <p>必要になったかの経緯を、今までの市政評価を含めて分析し明示方。それら経緯が明確化されて初めて必要なリニューアルの内容が明確になる。</p> <p>2. リニューアルが必要となった経緯;経緯を知る市民としての分析=以下が正しいと思われるが如何か?: 昨年、市民からの要望無く、また、市民同意下で策定された公式計画の内容・手順を無視して『栄分室閉鎖』を強行した。あまつさえ、市の当事者達は『栄分室閉鎖』の必要理由を多くの市民や議会に『子供の安全確保のため』と嘘の説明をし、議会は誤解したまま、閉鎖条例を採択した。当然、この虚偽且つ強引な市政に多くの栄地区住民や栄分室利用者から強い撤回/再検討要求が出され、市側は説得出来なかった。南部公民館リニューアル計画は、市側の虚偽且つ強引な行為を糊塗し、何とか反対住民を納得させる(黙らせる)為に市側が切羽詰まって考え出したものである。即ち、市政計画上も市民からも希望されて居ず、市民から強く責められた市の『栄分室閉鎖』当事者達の身の保全の為の工事と言わざるを得ない。</p>	1	<p>令和2年6月議会ですでに説明がなされていますが、栄分室閉鎖は児童クラブを栄小学校内に設置し、安全安心をより高めるために行いました。南部公民館のリニューアルは前後駅という立地条件の良さを生かし、豊明市の文化的交流を発展させるため、図書機能の充実を図っていきたくと考えています。</p> <p>各リニューアル案については住民説明会で説明しましたが、蔵書数については、蔵書スペースや施設耐荷重の条件をクリアしながら有効活用し、蔵書数を増やしていきたいと考えています。学習スペースやフリースペースエリアについては、現在検討段階です。駐車場については、すでに時間貸しの駐車場が借りられるようになりました。他には、トイレの全面洋式化、照明のLED化、パソコン等にも対応できるようにwifiの設置を検討しています。また、アンケートについては、栄中学校区にお住まいの方200人を対象に新たにアンケートの実施、それに加え図書館本館と南部公民館にリニューアル案を掲示した形で意見の収集を現在行っています。</p>

3. どうしても税金を使ってリニューアルする場合の要処置事項等:(栄分室閉鎖反対に対処する目的を達成する為)

(1)「栄分室存続で南部公民館そのまま」と提示案(当然、公式に約束した駐車場整備、図書室運営費を栄分室分を合算)を含みとの税支出の比較。期間は、市の公式計画の30年間。(即ち、市政の費用的効果)

(2)現時点で、議会等への虚偽説明に基づく「栄分室閉鎖」は法に沿うべく停止した上で、南部公民館リニューアル検討作業を停止した場合の費用的損失。(栄分室再開の費用的損失・・・費用を掛けずに有効利用拡大は多数有る)

(3)既に、市民の同意を得た豊明市総合計画、公共施設計画との整合性明確化。(内容と共に市民に関わる手順も含めて)

4. 各リニューアル項目についての質問、意見:

(1)全体;栄分室閉鎖に対応するための事業であり、昨年5月以降希求められた要望は全て達成すべきで、達成不可なら理由と対処案を示されたい。

(2)蔵書数;目標数値とその根拠を示す事。当然、少なくとも近隣自治体図書館との蔵書回転率等図書館パフォーマンスの比較説明と評価が必要である。

(3)学習スペース;目標面積(椅子数)と、根拠、設定経緯を示す事。本館の利用状況/前後駅利用学生の希望/近隣マックでの学習状況も調査し、状況説明要。

(3)明るさ;閲覧エリア/学習エリアは法律通り又は本館相当とすべき。

(4)フリースペースエリア;分室利用者が求めた近隣高齢者がゆっくり新聞を読める様に。

(5)wifi機能;分室閉鎖時に市長が『今やデジタル図書時代。紙の図書は時代遅れ』と明言したからには、wifi機能は当然。

(6)赤ちゃんスペース;分室利用者からの強い要望は『赤ちゃんをハイハイさせながら自分の本をゆっくり探せる環境である。お

むつ代えや授乳エリア迄は？
(経緯を良く理解方)

(7)駐車場台数;分室閉鎖の最大問題として頭初から問題視され、市の公式会議で『駐車場を整備するから南部公民館へ』と表明して居た。台数は少なくとも栄分室駐車実績を満たす必要がある。公民館利用者を考慮すると、少なくとも10台か。

(8)アンケート調査方法;前2項に示した様に、本リニューアルの根拠は『虚偽説明等強引に進めた栄分室閉鎖への激しい反対市民を納得させる(黙らせる)為だけのもので、市民全体の要望に基づくものではない。したがって、アンケートは市民全体で無く、先ずは分室閉鎖反対グループを対象としなければならない。尚、市民全体の意見は『栄分室は今後30年間以上存在させる、その後南部公民館と機能移転を協議』である事を改めて認識されたい。

5. 昨年6月議会の附帯決議との関係;公知方法等も有るが、分室閉鎖の代わりに南部公民館リニューアル以外に他の場所も検討する事を求められた。検討の結果/経緯を示す事。

6. そもそもパブリックコメントを求める段階(資料内容)でない:重要事項が全て『検討』で締め括られている。これは“検討作業(職員の通常業務)をする事に意見は有るか”コメントを求めて居る事になる。検討の結果、ゼロになるか200%になるか不明な段階で!?

パブリックコメントを求めるなら『検討した結果市側は〇〇〇の様で決断した。意見求む』とすべきで有る。検討作業は職員の通常業務として、しっかりやって下さい。それ以上のコメントは有りません。